

令和の都だざいふ「梅」プロジェクト



「ポテトチップス合格する梅」の新作を発表しました

カルビー株式会社・福岡農業高校・太宰府市が産学官連携で開発したポテトチップス合格する梅シリーズの新作「うめ韓国のり風味」の完成発表会を昨年12月2日(月)に市役所で行いました。今回のキャッチコピーは「努力はきっとみのりのり」。受験生に勉強の合間に一息ついてほしいという想いが込められています。同日、昨年度の本シリーズ売上金の一部を、カルビー株式会社から市に寄附していただきました。今後、梅プロジェクトの更なる躍進に活用します。



新作の開発に取り組んだ
福岡農業高校の生徒たち

学生まちづくり課題解決プロジェクト

第8回太宰府市子ども・学生未来会議を開催

子どもたちのアイデアをまちづくりに活かす学生まちづくり課題解決プロジェクトとして、市役所5階の議事堂で昨年12月25日(水)に、太宰府市子ども・学生未来会議(小学生の部)を開催しました。

市立小学校7校から代表の児童25人が議場の演台に立ち、実現してほしいと思うことを提言しました。例えば、「学校のグラウンドを人工芝にする」「太宰府の新名物として『たびっとケーキ』を開発する」など自由な発想です。傍聴席から保護者や先生が見守るなか、子どもたちは緊張しながらも元気良く発表し、楠田市長や門田議長たちからの質問にもはきはきと答えていました。



提言の内容を発表する子どもたち

まちのトピックス

世界に羽ばたく人材育成

デフバドミントンアジア大会、姉妹で金メダル獲得

本市出身の矢ヶ部紋可さん・真衣さんが、第10回アジア太平洋ろう者競技大会にデフバドミントン日本代表として出場し、姉妹でペアを組んだ女子ダブルスと団体戦で金メダルを獲得したことを報告しました。

2人は本年東京で開催されるデフリンピックに向けて、日本代表になり活躍することを掲げて意気込みを語りました。

楠田市長は「アジア大会優勝本当におめでとうございます。デフリンピックでの活躍を期待し、本市をあげて応援します」と激励しました。



金メダル獲得を報告した
紋可さん(前列右)・真衣さん(前列左)

世界に羽ばたく人材育成

ショートトラック全国大会、出場した全種目で優勝

本市在住・筑陽学園中学校2年の大原陽菜さんが、昨年11月に2024/25全日本ノービスカップショートトラックスピードスケート競技会第1戦の3種目に出場し、すべての種目で見事優勝しました。

大原さんは「大会新記録を出すことができ、とてもいい大会になりました。今後は新しい戦い方も勉強して、さらに上を目指したいです」と力強く目標を語りました。楠田市長は「小学生の頃から応援していますが、ここまで来たらけがに気を付けてのびのびと楽しく競技を続けてほしいです」と激励しました。



優勝を報告した大原さん(前列右)